

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業)
授業科目名：子ども家庭支援論 英語表記：Children Family Support Theory ナンバリング：2108			単位数：2単位 (半期) 講義 担当教員名：山田 耕平 担当形態：単独
科目／系列	／保育の本質・目的に関する科目		
施行規則に定める科目区分 または事項等／教科目		／子ども家庭支援論	
【授業の到達目標及びテーマ】			
1. 子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解できる。 2. 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解できる。 3. 子育て家庭に対する支援の体制、子ども家庭支援の現状と課題について理解できる。			
【授業の概要】			
子ども家庭支援の意義・目的、子育て家庭への支援の基本姿勢・内容、実践の方法・技術、子ども家庭支援の課題と現状について理解し、専門職としての知識を定着させる。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			○
【思考・判断・表現】			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			○
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			
【関心・意欲・態度】			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			○
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			○
【授業計画】			【授業時間外の学習】
第1回：子ども家庭支援の意義 第2回：子ども家庭支援の目的 第3回：子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進 第4回：子育て家庭支援の社会資源 第5回：保育の専門性を活かした子ども家庭支援 第6回：子ども家庭支援と子どもの育ちの喜びの共有 第7回：子育てを自ら実践する力 第8回：保育士に求められる基本的態度 第9回：家庭の状況に応じた支援 第10回：地域の資源の活用 第11回：子ども家庭支援の内容と対象 第12回：保育所等を利用する子どもの家庭への支援 第13回：地域の子育て家庭への支援 第14回：要保護児童およびその家庭への支援 第15回：子育て支援に関する課題と展望 定期試験：筆記			・毎回の講義を必ず復習し、学びや気づきを整理すること。（毎回1時間程度） ・授業内容の理解にあたっては、これまでの実習やボランティア等での経験が重要となる。適宜振り返り、学びを深めること。
【授業の方法】 講義、ディスカッション。 Google Classroomを用いて授業感想や質問を受け付け、随時フィードバックを行う。			

【テキスト】 『保育所保育指針解説<平成30年3月>』厚生労働省、フレーベル館	
【参考書・参考資料等】 『保育者のための子育て支援ガイドブック』中央法規 ※その他、授業において適宜プリント資料を配布する。	
【学生に対する評価】 授業参画度（50％）、定期試験（50％）。 ルーブリックを活用し、総合的に評価する。	
【履修上の注意】 受講にあたっては、テキストや参考文献等を用いて事前事後の学習を行うこと。	
実務経験の有無：有	実務経験：臨床心理士・公認心理師・精神科クリニック・生活困窮者支援 ・学生相談・幼稚園巡回相談 等
【実務経験を生かした教育内容】 切り口の異なる多様な現場での実践経験を活かし、具体的な事例をもとに授業を行う。	